

# 阿南 ぶらりまち紀行 ～地域の輝き～

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!

第100回

福井げんき祭り (福井町)



会議で当日のスケジュールを確認する実行委員の皆さん

福井町の秋の風物詩として長年親しまれてきた大宮八幡神社の祭りを一層盛り上げようと、13年前に始められた「福井げんき祭り」。境内から御旅所まで、だんじりの太鼓の音とともに神輿が練り歩く伝統的な神事に加え、実行委員の皆さんが運営する多彩な舞台や模擬店を楽しむことができる。毎年、神社周辺に飾り付ける提灯の数も自慢のひとつ。夕闇にぼんやり浮かぶ灯りが、祭りの高揚感を演出する。

合い言葉は、「子どもから大人まで誰もが参加し、楽しめる祭り」。実行委員の皆さんは、定期的に集まって話し合いを重ね、1年かけて祭りの企画を練ってきた。特に、今年は地道な勧誘が実を結び、9人の若者を迎えて総勢19人になった。おかげで人手の要る提灯飾りや舞台の仕切りもスムーズにこなせそうだ。去年までの緑の法被からスタイリッシュな黒のポロシャツへと装いも一新。一人一人がまちを元気にするべく並々ならぬ情熱を見せている。



毎年、飾られる提灯は700個にもなる



舞台の出し物の準備を手伝うようす

今年は、地元小中学生のアンケートで人気だった「射的」の模擬店を増やし、運営には小学生も参加できることになった。「子どもたちにとって、地域の大人と一緒に祭りに関わることは、きつと貴重な経験になる」と、実行委員長の古川博さん(65歳)。「運営側の思いを肌で感じ、ふるさと福井に愛着を感じてほしい。進学などで県外に出て、帰って来たいと思ってもらえるのが一番ですね」。

去年、神社の総代会からだんじりの和太鼓を譲り受けた。これを活用し、舞台を盛り上げる和太鼓グループ「福井げんき太鼓(仮称)」を結成したいと夢見ている。理想は、幅広い年齢層の演奏者がともに太鼓をたたき姿。訪れる方に毎年新鮮味を感じてほしいと、探究心を絶やすことなく新たなことに挑戦し続けている。実行委員の皆さんの熱意あふれる演出に触れば、「元氣」になれること間違いなし。すてきな秋の思い出をつくり、「福井げんき祭り」に出掛けませんか。

実行委員長 古川

(090-3188-9957)へ